

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		鈴鹿市第1療育センター				公表日	令和 7年 2月 27日
		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	10			・適切である。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	4		・訪問支援員を前年度より多く配置している。	・ニーズが高く職員が不足していると感じる。 ・利用希望が多く、順番待ちがある。 ・訪問できる職員が少ない。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	1	・訪問支援前後で話し合いを実施している。	・広くはないと思われる。 ・児童発達支援管理責任者と訪問支援員が参画している。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		・評価表の結果を受けて、業務改善について所長と児童発達支援管理責任者で協議している。その後、会議等で職員全体へ周知している。	・把握はしている。 ・業務改善につなげられたかどうかはわからない。 ・今回初めてアンケートを行うので、今後の業務改善につなげていきたい。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	1	・機会は設けられている。 ・窓口(担当職員)が決まっているので、意見を伝えやすい。 ・会議等を通して業務改善につなげている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4			・第三者への外部評価は行っていない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1		・職員のスキルアップを目的とした研修を多数受講する機会あり。	・専門的知識・技術向上のための研修が不足している。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	10			・センター内における担当者会議を実施して支援計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			・支援計画の内容について、こどもの最善の利益を考慮して児童発達支援管理責任者や訪問支援員間で検討されている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	10			・訪問先施設と事前会議を実施し、計画を説明し、訪問先施設より意見を求め意向を取り入れている。	・ご意見があったときには盛り込んでいる。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			・職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	1	・アセスメントシートを活用してアセスメントを取っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	10				・今まで以上に、具体的支援内容を踏まえた設定できるようにしていく必要があると感じる。
適切な支援の提供	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			・職員間で話し合いを通して共有できており、計画に沿った支援が行われている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			・支援前に職員間で打ち合わせが毎回必ず行われている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			・報告書の作成を通じて、共通認識を持ち、保護者へのフィードバックにつなげている。 ・フィードバックのための報告書作成時、担当者間で話し合っている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	10			・訪問先の思いを尊重して支援を行っている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	10			・毎回の支援に関して、記録作成を徹底している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			・実施している。	・保護者様に次の訪問の意向を確認していることが多いが、訪問先の意向まではなかなか確認できていないのが現状。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	1	・対象児と関わりの少ない職員である場合もあると思われるが、事前の情報収集や情報共有に努めている。 ・児童発達支援管理責任者を中心に参画している。	・機会があまりないのでわからない。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		・地域の教育機関との連携はできていない部分もあるが、市内事業所とは保育所等訪問支援をテーマとした勉強会や保育所等訪問支援に関する電話相談対応などを通して連携できている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			・保護者様からの依頼があった際、引継ぎ支援会議に参加している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	1			・助言は受けているが、外部研修はない。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	2	1	・『市内障害児通所支援事業所 担当者会議』や『子ども・子育て会議』に積極的に参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			・アセスメントの際に保護者様から家庭での様子などを聞き取っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3		・今年度よりペアレントトレーニングを一部のクラスで実施している。	・一部のみ実施。センター全体に行っていけると良い。

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10				・より一層保護者様へ丁寧な説明を心掛けていく必要があると感じる。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	10			・初めて訪問する施設には、所長も同伴し、事業の趣旨を伝えている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			・アセスメントの際に意向を確認する機会を設けている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	10			・説明を行い、保護者様から同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10			・6か月に1回アセスメントの際に相談に応じて助言などを行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	6	1	・親子同室のクラス、ペアトレ実施クラスでは交流の場となっている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		1	・日程を調整し、相談を受け入れる体制をとっている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2			・していたとしても、知らない。 ・保育所等訪問としての情報発信はできていない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			・個人情報の取扱いについて、十分留意するように職員研修や会議等とおして、職員への周知を徹底している。 ・鍵のついた棚で管理している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			・聴覚障がいの方とのコミュニケーションをよりスムーズに図るために、法人内で開催されている手話勉強会にセンター代表で職員2名が参加している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	10				・訪問先からの相談に応じられる体制を整えていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	10				・事後のカンファレンスを行うことはごく一部の訪問先でしかできていない。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	10			・報告書に加え、補足説明をさせてもらっている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			・個人情報の取扱いについて、十分留意するように職員研修や会議等とおして、職員への周知を徹底している。	

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	10				・訪問先からの相談に応じられる体制を整えていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		・各マニュアル（防犯マニュアル以外）が策定されている。 ・各マニュアルや取り組みについて研修会や職員会議を通して職員へ周知されている。	・感染症対応のフローチャートは作成していた。訓練は実施していない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		・職員間で話し合いをし、安全面の管理のもとで支援をしている。 ・今年度作成された安全計画に基づき、安全管理の中で支援が行われている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			・一度起こしたことを繰り返さないよう、対策を練っている。 ・事故・ケガがあった際、再発防止に向けて話し合いがされている。翌日、朝礼にて報告し、職員全体で共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			・研修を受ける機会の確保がなされている。 ・虐待防止委員会主催の研修会が年1回開催されている。動画視聴も可となっていた。たすかっている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保育所等訪問支援計画に記載しているか。	8	2			・決定はしていても、記載はしていない。